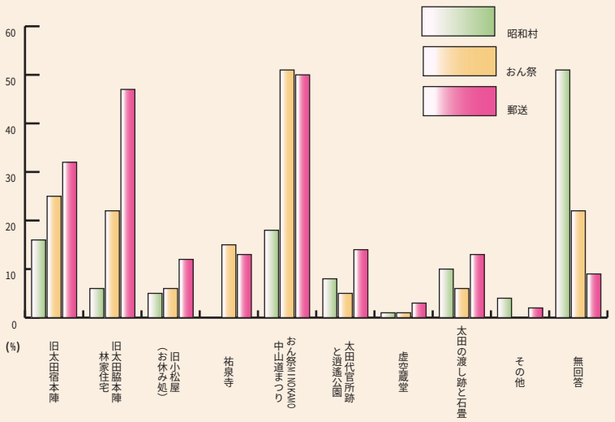
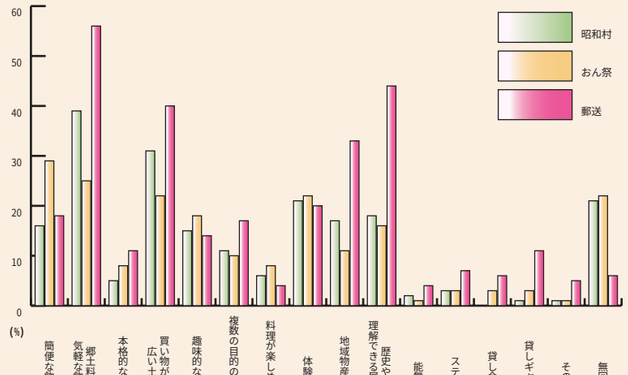
## ～アンケートより～




? 美濃加茂市は江戸時代に「中山道太田宿」として栄えていました。「太田宿」の中であなたが自慢できるスポットやイベントを教えてください。（複数回答）

■県外の方が多い日本昭和村で行った場合、本陣・脇本陣の意識は少ない。逆に郵送で市民の方に行ったところ、本陣・脇本陣がかなり大きくなっており、県内市外の方は本陣・脇本陣の存在をあまり知らないと考えられます。

お祭りでは、おん祭MINO KAMO が、美濃加茂市の方も非常に魅力的なものだということになっています。

無回答のところでやはり昭和村での方は太田宿の存在は知らないということが出てきていますので、太田宿という全体の知名度を上げることが求められていると思われます。

? 太田宿が人々との交流や文化づくり、観光の場となるために「（仮称）中山道会館」にどのような設備・施設があるといいでしょうか。（複数回答）

■美濃加茂市内の方々で高いポイントをあげているのが、郷土料理など気軽な飲食施設、お土産もの屋などのショップ、歴史や文化がわかる展示施設、貸しギャラリー、貸し会議室です。市民が積極的に参加したいという気持ちが表れています。

一方、県外からの観光者が多い日本昭和村の調査では、飲食施設や物販施設の希望が多いです。

また、３つの調査とも「体験工房」は似たようなポイントが、なかでも日本昭和村の値が高くなっています。全般に「体験を通した交流」が求められているようです。

## ～市民からの声～

市民からは実にいろいろな希望が寄せられました。（仮称）中山道会館への期待がうかがわれます。

・江戸時代からの建物があるとかが問題じゃなくて、あの雰囲気、あの狭いまちなみを歩けば中山道を感じられるのであればいいじゃないかと思います。
・景観についてのルールづくりとして、「まちづくり憲章」をつくるのがよい。
・レストランみたいな休憩所ではなく、お年寄りの人が休んで新聞読んだり、週刊誌を読んだりする、図書館の機能みたいに休める所。暑いときはクーラーがあって、寒いときには暖房が効いていて、地域の人が気楽に立ち寄れる憩いの部屋があってもいいのかなと思います。
・街道筋の行灯も、6年に1度取り替えるなど、式年遷宮のように行事として行うのがよい。
・将来的に人力車などが止まれるスペースがあればよい。
・ソフトな面、癒しの面、昔を懐かしむ面、老人と子どものふれあいということで、次代の夢のある子どもたちのまちづくりをしていかなきゃいかんと思う。そのキーワードになるのが（仮称）中山道会館であればと思います。

（ほか、多数）


発行日　平成16 年11 月26日
発　行　中山道太田宿ワークショップ
事務局　美濃加茂市　商工観光課　TEL　0574　-25 -2111　（内線262）　FAX 0574　-25 -39 17

## 太田宿を楽しんでもらう建物って、どんなやろ？

### ～太田宿の町並みに誘う施設に～

コンセプトの検討でもあったように、この（仮称）中山道会館を基点に、観光に来た人たちが太田宿を実際いてもらうことに重点をおいています。また、川のある宿場であることが太田宿の最大の特徴でもありますのことも味わってもらいたい。本陣の真向かい、脇本陣の隣という地。かつては旅人たちの日よけに使われたという椋の木（保存樹木）。

この（仮称）中山道会館にきて「はい、さようなら」では困るのです。また、（仮称）中山道会館は、公設として、運営はNPO* を想定しています。そのためにはどんな設備が適当なのでしょうか。
ハード（建築物）はソフト（運営）を限定しています。ソフトがしっかりしていないといいハードとならない

ワークショップでは、毎回専門家を交えた意見交換がなされました。

*NPO　:Non-Profit Organization の略称で、ボランティア団体や市民活動団体などの、民間非営利組織を広く指す。利益は関係者等に分配せず、団体の活動目的を達成するための費用にあてられる。

太田宿本陣（表正門）

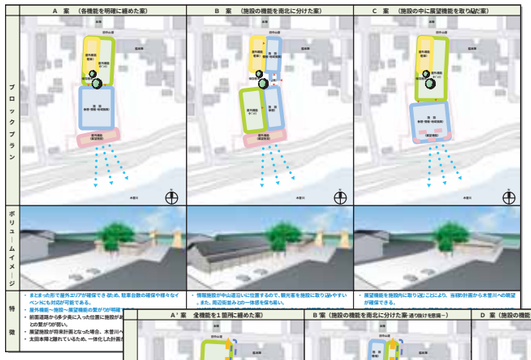
旧太田脇本陣林家住宅

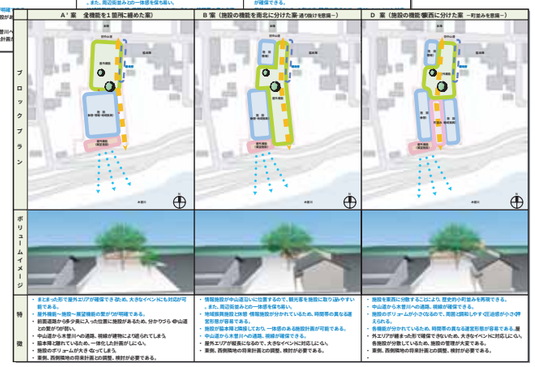
## ～太田宿の町並みから～

旧小松屋（お休み処）
（吉田家住宅）

日本ライン下り

## こんな建物が計画されています




「脇本陣、街道と回遊性をもたせるために二棟にわけました」（設計側）
「二棟にすると管理面で二倍になるのでは？一棟ではどうやろ」
「川を見てもらいたいが、どうしようか」
「アンケートからも、若い人たちの地元に対する興味や関心が薄いことがわかる。なにか伝えるための展示は必要や」
「イベントで使えるように広場は広くとってもらいたい」
「レストランは簡単なものでええやね。厨房はもっと狭くてええんやないか」・・・

### 1 利用者数の算定

**年間通常来訪者数** 50,000 人/年想定
82 人/平日
（土日祝日は平日の300 %）

| 曜日 | 日数 | 利用者数/日 |
|---|---|---|
| 平日 | 245 日 | 82 人/日 |
| 土日祝日 | 120 日 | 250 人/日 |
| 定休日 | 0 日 | 0 |
| 合計 | 365 日 | ー |

50,000 ÷ {245+(3x120) } 82 人/日

**繁忙期利用者数** 250 人/土日祝日

### 2 最大利用者数の算定

土日祝日における本施設利用者の90 %が10 時から15 時の5 時間に利用すると想定し、ピーク時の最大瞬間利用者数を算出する。

**土日祝日の1 時間あたりの平均利用者数**
45 人/時間・・・250 人 x 90 % ÷ 5時間

**館内に滞留する人数**
45 人 ・・・45 人/時間 x 平均滞留時間:1時間

**最大瞬間利用者数**
90 人・・・45 人 x 2ピーク時割増係数(想定値)